

第2回 横浜市金沢スポーツセンター指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和3年8月18日(水) 午後2時00分～午後4時15分
開催場所	金沢公会堂1・2号会議室
出席者	後藤委員長、石黒委員、沓澤委員、高麗委員、増田委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴人:3人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定審議
決定事項	1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認した。 2 公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者と決定した。 3 報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	<p>1 応募団体の面接審査  応募1団体について、15分間のプレゼンテーション後、20分程度の質疑応答を行った。</p> <p>2 応募団体との主な質疑  (委員) 現在コロナ禍において障害者のスポーツの機会がなくなっている。スポーツセンターとして区内障害者施設へアプローチしてもらいたい。  (団体) 元々、金沢養護学校や夏にシーサイドの地区社協が開催している「楽しいスポーツをしよう!」にも指導等協力をしていたが、コロナの関係で全ての活動が中止となり、なかなか協力ができない状況であるが、感染防止対策を行い並木中学校のパラスポーツ体験ということで体育の授業でシッティングバレーボールやゴールボール、ボッチャの体験等は指導の取り組みを行った。今後も受け入れていただける施設があればコロナ対策を徹底した上で、少しでも障害者の方にも様々スポーツを体験していただけるよう取り組んでいきたい。  (委員) 障害者施設の職員がスポーツセンターに連れて行くのは難しいため、施設からアプローチを行いスポーツの機会を与えてほしい。  (委員) 裏の駐車場について利用者の減免はあるか。また正面の駐車スペースの取り扱いはどうなっているのか。正面は駐車スペースがあることで地面が荒れているが、どのように考えているか。  (団体) 裏の駐車場はスポーツセンターの利用の有無にかかわらず現在2時間300円で減免は行っていない。裏の駐車場が24台までと限られており駐車スペースの圧迫を避けるため、正面の駐車スペースについては、大会や教室等の開催時の役員や指導者の場所として使用している。正面スペースのタイルが剥がれており荒れているのは今期の指定管理期間中に一度半面だけ補修を行った。残り半分については次期中に対応したいと考えている。今後も駐車スペースとして使用予定のため、修繕方法については今後検討していきたい。  (委員) 正面駐車スペースは今までと同じようなタイル式だと補修してもすぐに元に戻</p>

る。駐車スペースとして使用するなら、それなりに整備をする必要があるので、しっかり行ってほしい。

(委員) 地域に様々派遣にでていることは承知しているが、これからどのような事を地域と一緒にやっていくのか。現在実施している連携事業以外にどのような方向で実施予定か。

(団体) 色々な所で地域への派遣指導を行っているが、コロナの影響で依頼が減っている状況である。ただコロナ過でも屋外のウォーキング指導の依頼をいただいている。これまでも福祉保健センターや保健活動推進員の方から依頼を受けて公園遊具とウォーキングを組み合わせた事業等を依頼いただいているので今後もそういった活動に引き続き尽力していきたい。新たな取り組みとしては、豊かな金沢の自然を活かして公園を管理している施設等とタイアップしてネイチャーゲーム等の体験をスポーツに組み合わせながら新たな事業として実施したい。

(委員) スポーツセンターから遠い地域の人にもスポーツセンターの活動が目に見えるような連携の仕方をしてほしい。社協や民生委員等も入れていただければより良い活動ができるのではないかと思う。

(委員) 外国人来場者への対応について、どのような取組があるのか。

(団体) 英語が話せるスタッフを数名採用している。また常時、窓口にタブレット端末があり翻訳アプリで対応している。スタッフには年に1回以上使い方の研修をしている。英語が話せるスタッフについては増やしていきたいと考えている。

(委員) そのアプリは英語以外の言語対応についてどうか。

(団体) 複数の外国語がアプリに登録されている。中国語と韓国語にも対応している。東南アジアの利用者が増えているので今後カバーできるよう検討している。

(委員) 託児について保育士の方が何名かいるのか。

(団体) 保育ボランティアクラブに委託し、予約制で託児の対応をしている。

(委員) 財団本体の財務について、コロナ禍で令和2年度の維持費が相当かかっているが、その多くは市からの補填金により対応している状況である。今期以降の固定費等経費の削減についてどのように考えているのか。

(団体) 安全管理等必要経費以外の消耗品や備品等の購入を控えて、収益性の高い事業を推進し収益を上げていきたいと考えている。

(委員) スポーツに関わる研修や救急救命等様々な研修が必要だと思うが、職員あるいは指導に携わる人に対してどのような研修をしているのか。

(団体) 個人情報の取り扱いに関する研修を全職員対象に行っている。また座学の研修だけでなく、ゴールボールの体験を全職員で実施するなど、オリンピック、パラリンピックに関する情報や貸し出し等もあるので、種目を理解し説明ができるように実技の研修もケガがない範囲で体験ということで行っている。また救急法としてAEDの使い方、心肺蘇生法の研修なども行っているほか、ラポールの方など外部講師を招いて障害者の方への介助の研修も行っている。

- (委員) コロナや防災関係の研修についてはどうか。
- (団体) コロナについては研修というよりも日常業務として、2時間一区分の貸館業務の合間に出入口のマットや利用者が触れる部分は全て消毒を行っているため、コロナの対策は既に身に沁みついている。防災については、お客様が参加しない形での避難誘導訓練やお客様にも協力いただき消防署の方も来て避難誘導にどのくらい時間を要するかの確認や、消火訓練を年に1回以上行っている。
- (委員) 災害時の対応として、並木地区は海拔3mぐらいで首都直下型地震が発生した場合、最大6メートル程度の津波が発生するといわれているが、どのような避難を考えているのか。
- (団体) 事務所に避難場所等の掲示をしている。地震の規模にもよるが、高い所として、隣のイオンの屋上に避難するということでスタッフに情報共有している。時間に余裕があれば循環器センターまで避難できればと考えているが、間に合わない場合は、より高い所ということでイオンの屋上に避難するということで訓練時には情報共有している。
- (委員) それはイオンと提携等しているのか。
- (団体) 正式には出来ていないので、早急に調整していきたい。

### 3 指定候補者の選定審議

評価基準項目に則り評価を行った結果、評点において最低基準（5割以上）を満たしたことから、公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者として選定した。

<採点の集計結果>

団体名	評点 (合計)
公益財団法人横浜市スポーツ協会	491 点

(525 点満点中)

### 4 審査講評

指定管理者（公益財団法人横浜市スポーツ協会）

現指定管理者として第三者評価結果も良好で、所長のリーダーシップのもと丁寧な接客や清掃等きめ細やかな利用者サービスを継続的に取り組んでおり、団体としての運営実績が高く評価された。また新型コロナ対策についても手作りで様々な飛沫感染防止の工夫・努力を行っている点も評価された。

要望として、障害者がスポーツをする機会を増やすために障害者施設にアプローチを行うことや、正面出入口付近における、駐車場の取り扱いについて今後検討をしてほしいとの意見があった。今後も新型コロナウイルスによる影響が続く中で、継続的に施設を維持管理運営していくために、団体としてのさらなる創意工夫による取り組みに期待したい。

資料・  
特記事項

特になし。